

アンダーテールのみんなを暗殺教室の世界に  
放り込む話

海の中にある昆布

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

タイトル通りアンダーテールのキャラを暗殺教室の世界に投げ入れます

最初はサンズだけの登場ですが、

徐々に他のキャラも登場させる予定です。

キャラ崩壊が凄いです。でも後悔はしていなi（殴

特にキャラとサンズ、トリエルの崩壊が凄いです。

いや全員だった…

全部のルートのネタバレあります。

投稿日がいつになるかわかりません。

それでもokな方はゆっくりして行ってね

# 目次

プログラグ

1

# プロローグ

ウオーターフェルにて…

「…リセットはまだ起きてないな…」

今、俺はフリスクに呼ばれてバリア近くの広場へ向かっていた

この世界線ではフリスクがみんなと仲良くなり

バリアを壊し、地上に出たルート

いわゆるPルートになっている。

「メモに書き足すか…」

<メモの中身>

人間がとった行動についてのメモ

Nルート… 中立

Pルート… 真の平和主義者

Gルート… 殺戮

1回目、不明

2回目、Pルート

3回目、Gルート

4回目、Gルート

5回目、Gルート

6回目、Gルート

7回目、Nルート

8回目、Nルート

9回目、Nルート

10回目、

1回目は不明と書かれている…

恐らくこのメモができたのが2回目の

時なのだろう。

「今回は10回目のようだな…」

そう言いながら俺は10回目の先にPルートと

書き足した。

「兄ちゃん、早くして!!?もうみんな集合場所についているんだから!!?」

メモへ落としていた目線を声のする方へ上げてみると

そこには俺の弟が立っていた。

「そんなにカリカリするなよカルシウムが足りてないのか？骨だけにツクティーン☆」  
「ニエーニエー!!もういいから早く来て!!」

弟は怒った顔をしたあとこちらに手招きした。

集合場所に行くくと、弟が言っていたとうりもうみんな集まっていた。

どうやらみんなもフリスクに集められたようだ。

普段忙しいアズゴア王やトリエルもいた。

トリエルに仕事はどうしたのか聞くと有休暇をとつたらしい。

他にもアンダイン、アルフィー、メタトンがいた。

。。。

さつきからどうしても気になることがある

メモ内容：．． 何故3回目から6回目までGルートが続いたにも関わらず

7回目からいきなりNルートに変わっている．．

気のせいかな？

考えすぎなだけかもしれない．．

「．．．サンス？」

「!?ああ．．．トリエル．．．ごめんボーツとしていたみたいだ．．．」

トリエルは心配そうな顔をして俺の顔を覗いていた．．

その時だった…

突如眩しい光に襲われた

「なんだ!? なにも見えないぞ! ンガアアア」

「ニエー!!」

視界がだんだんと真っ白になっていく中から

片隅に黒い影が見えた。

それは小さく俺と同じ背丈だった。

「フリスクか?」

そう呼んだが返事がない。

フリスクラしき者が何かを伝えようと口を動かす。

しかし、ほとんど輪郭しか分からなくなっている

俺にはもう分からない…

そして徐々に視界が白から黒へと変わった。

「(ハハ)は(どう)だ?」

目が覚めると見知らぬ建物が目の前にあった。